

1 単元名 開国と近代日本の歩み 「欧米の進出と日本の開国～」(全6時間)

2 単元のねらい

市民革命や産業革命を通して近代化を果たした欧米諸国の脅威によって日本は開国を余儀なくされ、国内では近代化を求めて薩長を中心として討幕運動が進められ、江戸幕府が滅んだことを理解することができる。

3 単元で培いたい学び方

幕府滅亡の理由を欧米諸国の近代化と幕藩体制の崩壊への具体的な事件や事象を通して理解し、多面的に考察する学び方。

4 内容のまとめりとごとの評価規準 歴史的分野の内容(5)「近現代の日本と世界」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きに対する関心を高め、意欲的に追究し、国際協調の精神を養い国民としての自覚をもととする。	我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きから課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きに関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり説明したりしている。	我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きを理解し、その知識を身に付けている。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響に対する関心を高め、意欲的に追究している。	欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響に関する絵画、グラフなど様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	欧米諸国のアジアへの進出を背景に、我が国の開国とその影響を理解し、その知識を身に付けている。
学習活動における具体的評価規準	江戸幕府が滅亡したことに関心をもち、今後の学習に対して追究意欲をもっている。 【第1時 ノートの記述、発言内容】	平民が中心となってフランス革命をおこした理由を、封建的な支配からの解放という視点から考察している。 【第2時 ノートの記述、発言内容】  井伊直弼が、不平等条約を調印した理由を様々な視点から考察している。 【第5時 ノートの記述、発言内容】	工業が発達したことによる社会変化を書き資料から読み取っている。 【第3時 ノートの記述】	産業革命をおこした欧米諸国は、アジア諸国に進出して行ったことを理解している。 【第4時 ノートまとめ】  薩長が中心となって新政府を成立させたことを理解している。 【第6時 ノートまとめ 発言内容】